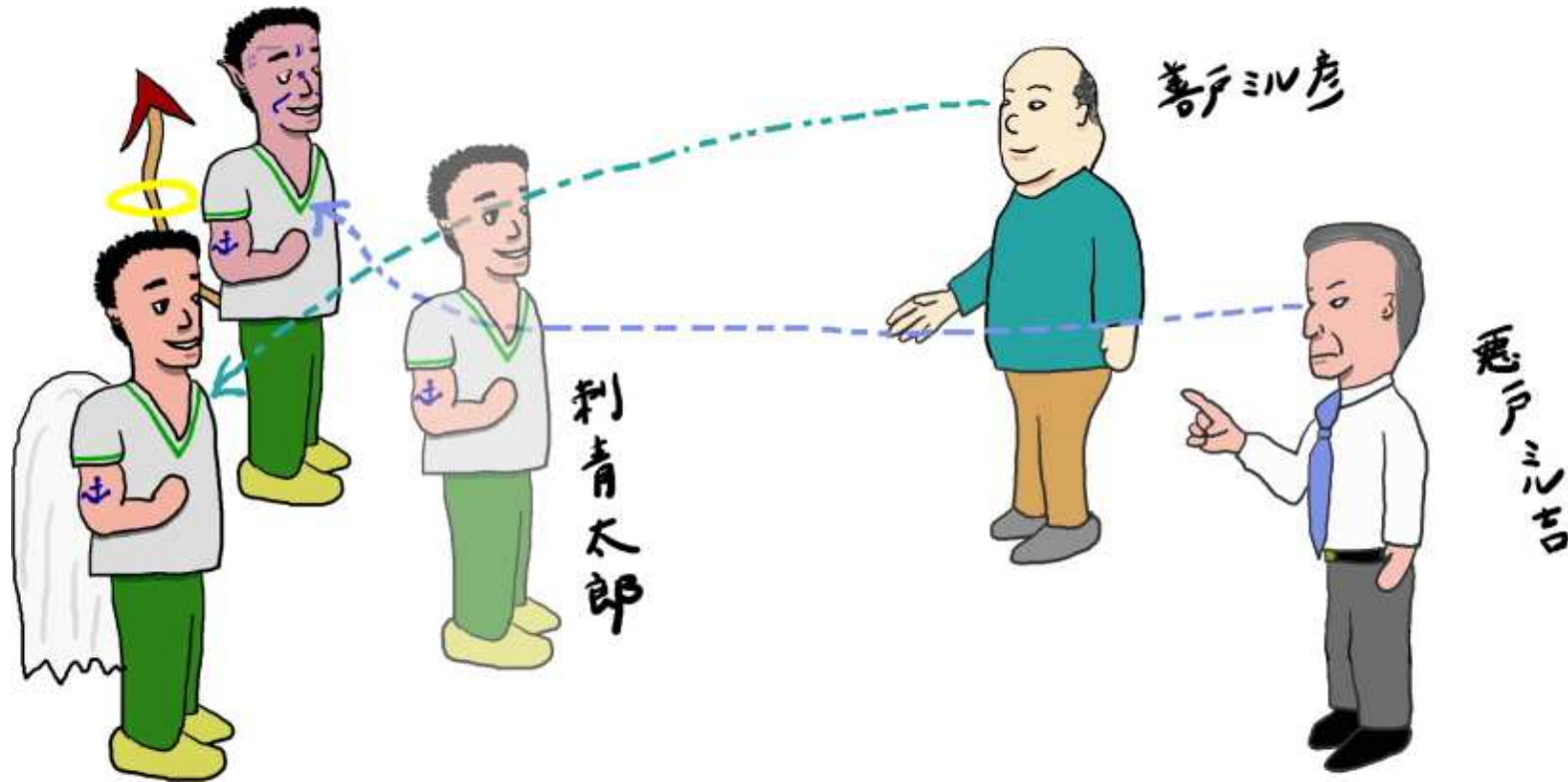


# 素直になれない



東郷 潤

あるところに、悪戸ミル吉さんと善戸ミル彦さん、それから刺青をした刺青太郎さんがいます。悪戸ミル吉さんは刺青太郎さんを悪人だと思っています。善戸ミル彦さんは刺青太郎さんを善人だと思っています<sup>1</sup>。



<sup>1</sup> ●刺青の有無と善悪の関係について、一切の主張をするものではありません。 ●状況設定は、絵本「悪い良い人—1」と同じです。

悪戸ミル吉さんは、刺青太郎さんを悪人だと思っているので、悪人として扱います。



一方で善戸ミル彦さんは、刺青太郎さんを善人だと信じているので、「悪戸ミル吉さんが刺青太郎さんを差別している」と思いました。



むろん善戸ミル彦さんは、悪戸ミル吉さんの差別をやめさせたいと思いました。



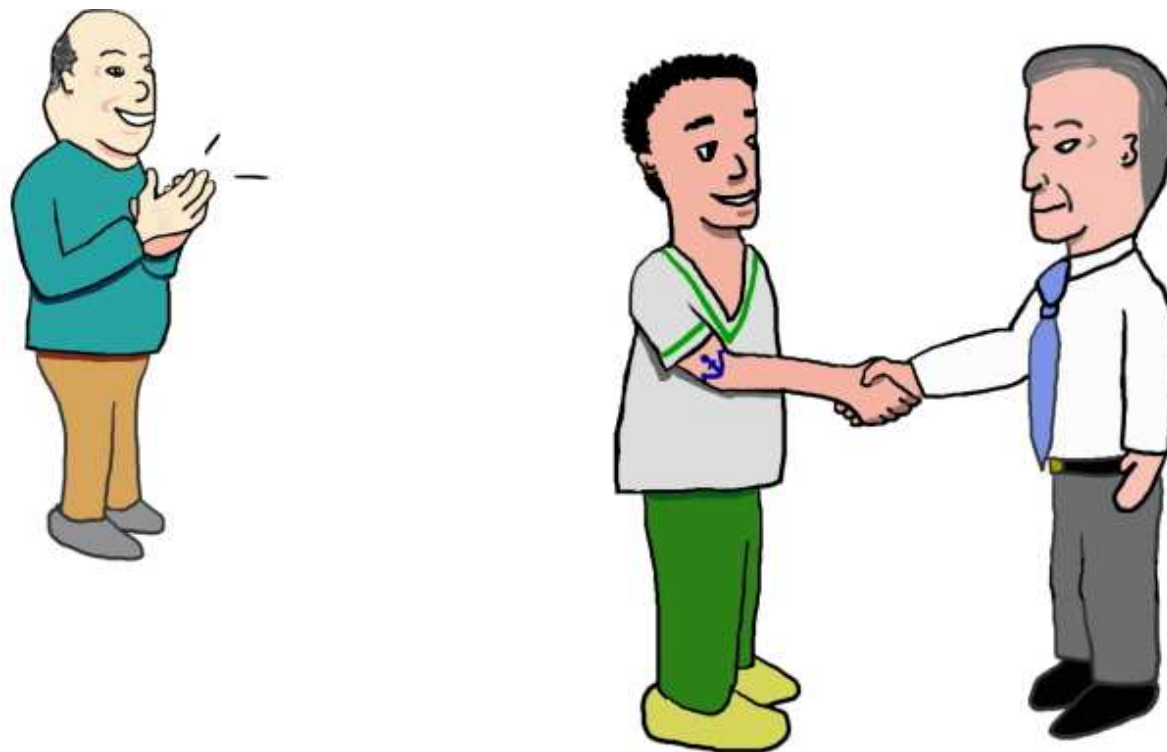
さあ、善戸ミル彦さんは、どうするでしょう？ そして悪戸ミル吉さんは、どう反応するでしょう？ ここで二つのケースをご紹介します。差別の解消と固定化の分かれ道です。

## [ケース1] 差別は認識の違いによるもの

善戸ミル彦さんは悪戸ミル吉さんに、こんな情報を提供しました。悪戸さんが刺青さんを誤解している  
と思ったからです。



刺青太郎さんへの認識を修正した悪戸さんは、むろん、それからは刺青太郎さんを、立派な人として扱うようになりました。立派な人を立派な人として扱うのは、当たり前のことにはすぎません。



では次は、善悪の錯覚が絡んだケースです。

[ケース2] 差別は悪だ／差別する人は悪人だ

差別は悪です。差別を許してはいけません。善戸ミル彦さんは悪戸ミル吉さんに強く意見しました。







善戸ミル彦

そうじゃない、あなたの刺青太郎さんへの  
態度のことを言ってるんだ！  
この新聞記事を見なさい。 刺青さんは、  
人命救助で表彰されたことがあるんですよ！

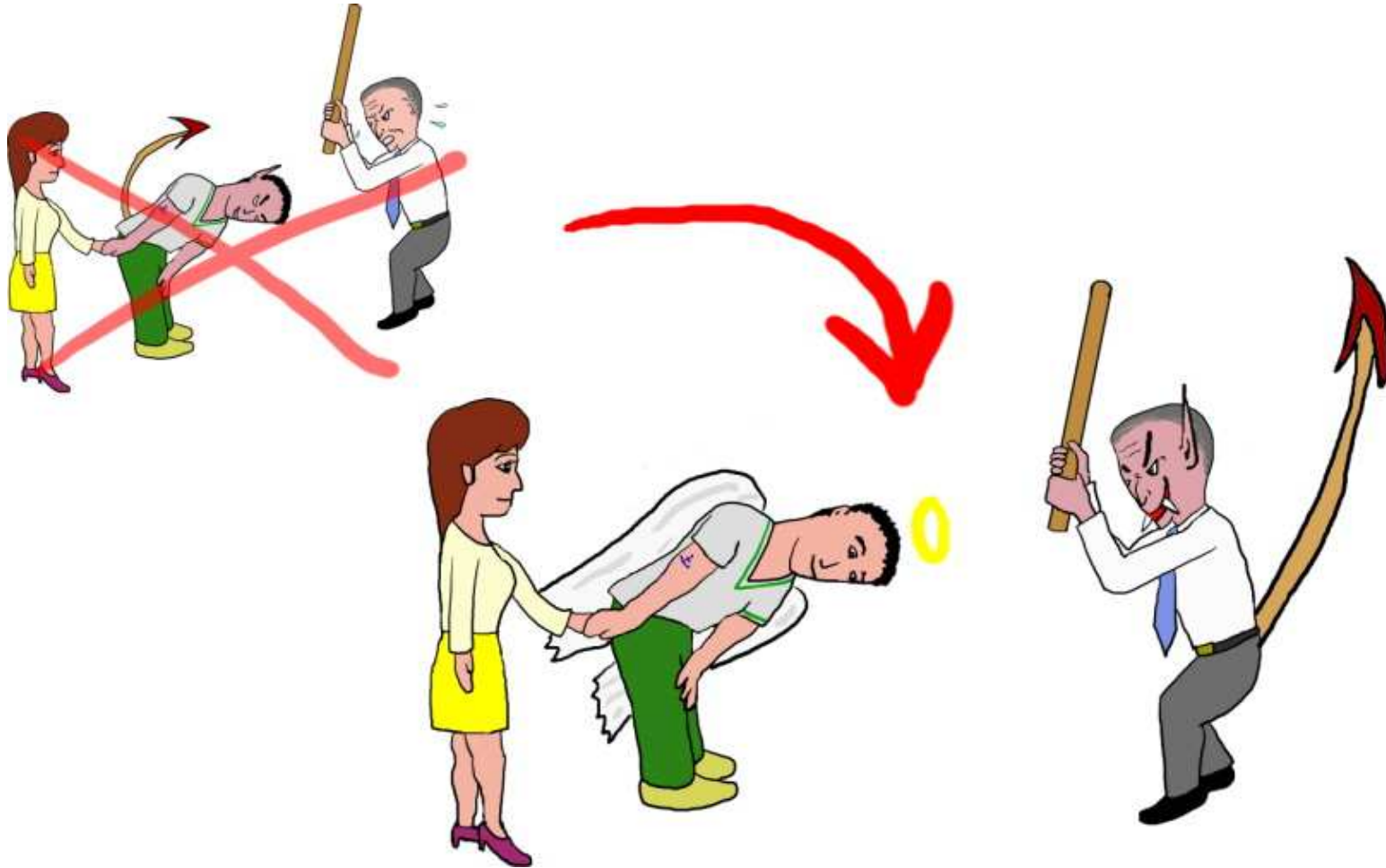


悪戸ミル吉

な、なんだって？  
刺青太郎が人命救助だって!?



もし刺青さんが悪人ではなく善人だとすると、悪戸さんは差別したことになります。そして差別は悪人がすることです。・・・つまり、こういうことです。





な、なんだと！  
俺が悪いっていうのか！？

こんな新聞、  
嘘に決まってる！

カ  
ー  
カ  
ー  
カ  
ー

## あとがき 一絵本「素直になれない」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

**[www.j15.org](http://www.j15.org)**

©Jun Togo 2013